

第9回 シンポジウム

持続可能な水道システムの確立

～産・学・公による多様な連携～

平成29年 8月24日(木)、25日(金)

24日：10:00～16:45 交流会：17:15～19:00 25日：9:30～17:00

会場：横浜国立大学理工学部 講義棟 A-107 室

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

主催：「持続可能な水道システムの確立」企画委員会

共催：横浜国立大学大学院 工学研究院

公式 Web サイト：

http://www.v-academia.jp/e_swss/

【第9回 シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」～産・学・公による多様な連携～ 開催概要】

【開催趣旨】

水道は重要なライフラインです。我が国の水道技術は極めて高く、国際的にも指導的な立場にあります。しかし一方では施設の老朽化が進み、安定した水供給に障害が発生しつつあることも事実です。

多くの水道事業者からの要望を踏まえ、第9回シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」を開催いたします。今回は「産・学・公による多様な連携」と題し、学公、公民、公公連携や広域化の取り組みについて、全国の規模の異なる事業者を中心に多数の講演を予定しています。また本シンポジウムには毎年多数の方々に参加されており、お互いの交流を深めるとともに情報交換の場としても高い評価を頂いています。

【主催】

「持続可能な水道システムの確立」企画委員会

【共催】

横浜国立大学大学院 工学研究院

【後援】

厚生労働省生活衛生・食品安全部水道課、

岡山市水道局、神奈川県企業庁、神奈川県内広域水道企業団、川崎市上下水道局、北九州市上下水道局、神戸市水道局、

さいたま市水道局、札幌市水道局、仙台市水道局、千葉県水道局、東京都水道局、名古屋市上下水道局、新潟市水道局、

八戸圏域水道企業団、阪神水道企業団、福岡市水道局、横須賀市上下水道局、横浜市水道局

塩化ビニル管・継手協会、(公財)給水工事技術振興財団、(公財)水道技術研究センター、

(一社)全国上下水道コンサルタント協会、(公社)日本水道協会、日本水道鋼管協会、(一社)日本水道工業団体連合会、

(一社)日本ダクタイル鉄管協会、配水用ポリエチレンパイプシステム協会、(公社)腐食防食学会、

(公財)横浜観光コンベンションビューロー、(株)水道産業新聞社、(株)日本水道新聞社、

【運営受託】

株式会社ベンチャー・アカデミア (横浜国立大学 大学研究成果活用企業)

【参加費】

2日間で12,960円(資料代含む・税込) 交流会は当日会費として1,000円をお支払い下さい。

【定員】

200名(先着順)

【申込期間】

平成29年5月9日(火)～7月28日(金)(定員になり次第締切ります。)

第9回シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」主催者挨拶

「持続可能な水道システムの確立」企画委員会 委員長 清塚 雅彦
(横浜市水道局 担当理事 配水部長 水道技術管理者)

我が国の急速な経済の成長を支えてきた全国の水道施設、特に管路施設が続々と更新の時期を迎えています。国民の生活に直結するライフラインである水道のサービスを持続しながら、どのように施設を維持管理し更新を進めていくかは喫緊の課題です。

昨年のシンポジウム「次世代水道を見据えた先進事例」には全国の水道事業者をはじめ、定員を超える202名ものご参加をいただき大盛況に行うことができました。

今回は「産・学・公による多様な連携」をテーマに、水道事業者を中心に学公連携、公民連携・公公連携や広域化への取り組みなど、地域的にも事業規模的にも多彩な講演を予定しております。

昨年度と同様に今回のシンポジウムの構成内容は、必ずご来場の皆様にご満足いただける内容であると確信しておりますので、皆様奮ってご参加下さいますよう御願いたします。

また、皆様より関係各部署にご周知していただくことで、より多くの方々のご参加を期待しております。

第9回シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」共催者挨拶

横浜国立大学大学院工学研究院長 渡邊 正義

日頃より横浜国立大学大学院工学研究院にご理解を賜りありがとうございます。さて例年開催しております、シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」を、本年度も開催の運びとなりました。今回のシンポジウムが水道技術者のキャリアアップや「持続可能な水道システムの確立」の高度化に役立つことを願っております。皆様の一層のご発展をお祈りしております。

【シンポジウムプログラム】

※プログラム内容は変更になる場合があります。

		演題 / 講師
8月24日 (木) 横浜国立大学 理工学部 A-107室	10:00~10:20	主催者挨拶 清塚 雅彦 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会 委員長 横浜市水道局 担当理事 配水部長 水道技術管理者
		共催者挨拶 渡邊 正義 横浜国立大学大学院 工学研究院長
	10:20~10:30	スケジュール・会場案内
	10:30~11:30	<基調講演> 「水道インフラの保全のために大学ができることー最新技術動向から人材育成までー」 岡崎 慎司 横浜国立大学大学院 工学研究院 教授
	11:30~12:15	講演：「千葉県水道局の管路情報管理システムについて」 長谷川 康司 千葉県水道局 水道部給水課 施設管理班長
	12:15~13:15	昼休み
	13:15~14:15	講演：「東京都・川崎市 水の相互融通」～非常時の事業体間広域連携～ 川戸 隆行 東京都水道局 給水部配水課 課長代理（計画担当） 三栖 幸彦 川崎市上下水道局 水運用センター 調整係 係長
	14:15~15:00	講演：「札幌市水道局の管路外面腐食対策」 女池 高啓 札幌市水道局 給水部給水課 漏水防止担当係長
	15:00~15:15	休憩
	15:15~16:00	講演：「(株)北九州ウォーターサービスの設立と広域事業」 藤村 和生 株式会社北九州ウォーターサービス 広域事業部長
	16:00~16:45	講演：「水道事業における官民連携、公公連携、広域化の展望」 佐藤 裕弥
17:15~19:00	交流会（希望者のみ、別途参加費¥1,000）：横浜国立大学工学部 第二食堂	
8月25日 (金) 横浜国立大学 理工学部 A-107室	9:30~9:40	スケジュール案内
	9:40~10:25	講演：「横浜市水道局における公公連携の取り組み」 村上 佳江 横浜市水道局 事業推進部 国際事業課 担当課長
	10:25~11:10	講演：「沖縄本島周辺離島8村の広域化の取り組み」 志喜屋 順治 沖縄県企業局 水質管理事務所 次長
	11:10~11:55	講演：「秩父地域の水道広域化」 町田 忠男 秩父広域市町村圏組合 水道局 経営企画課 主席主幹
	11:55~12:55	昼休み
	12:55~13:40	講演：「阪神地域の水道事業体の広域連携の取り組みについて」 長塩 大司 阪神水道企業団 総務部長
	13:40~14:40	<招待講演>「水道法改正を踏まえた今後の水道事業のあり方」 滝沢 智 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授
	14:40~14:55	休憩
	14:55~16:45	パネルディスカッション：「産・学・公による多様な連携」 コーディネーター： 清塚 雅彦 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会 委員長 横浜市水道局 担当理事 配水部長 水道技術管理者 パネリスト： 滝沢 智 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授 長塩 大司 阪神水道企業団 総務部長 藤村 和生 株式会社北九州ウォーターサービス 広域事業部長 町田 忠男 秩父広域市町村圏組合 水道局 経営企画課 主席主幹 志喜屋 順治 沖縄県企業局 水質管理事務所 次長
	16:45~16:50	閉会挨拶 朝倉 祝治 横浜国立大学 名誉教授
	16:50~17:00	修了証授与

【お申込方法】

【E-Mail によるお申込み】

別紙受講申込書に記載されている必要事項をご記入の上、symposium@v-academia.jp まで送信してください。

【ファクスによるお申込み】

別紙 FAX 申込書に必要事項をご記入の上、045-718-5325 まで FAX 送信して下さい。

株式会社ベンチャー・アカデミア

(住所) 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町 1-1-40 横浜市産学共同研究センター研究棟 204

(TEL/FAX) 045-718-5325

(E-Mail) symposium@v-academia.jp

お申込時にご提示いただいた個人情報は、本シンポジウム運営上の連絡・統計以外には使用いたしません。ただし、お申込時に希望された方に対しては、今後のシンポジウムのご案内の際に利用させていただくことがあります。

【受講料について】

受講料 (¥12,960) は銀行振込にて平成 29 年 8 月 7 日 (月) までに下記の口座にお振込みください。お手数ですが振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。お振込確認後、受講票と詳しい交通案内を電子メールにてお送りいたします。

三菱東京 UFJ 銀行 横浜駅前支店 普通 2835353 (株) ベンチャー・アカデミア

交流会会費は (自由参加、¥1,000) 当日会場にて現金でお支払いください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

